

# 週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

&lt;先週の説教から&gt;

『詩編 58 — 神様が裁きを行なっただ

さらなければ』 武田真治 牧師

詩編 58:1~12 ロマ書 9:1~5

この詩編のト書き(1節、英語ではタイトル)に、この詩編の説明として「ミクタム」とあります。これは《教えの詩編》という意味で、この詩編を読む者には、生きて行く上で信仰的にどう考えるかが教えられると。確かにこの詩編をどう受け取るかによって各々の“信仰が問われる”詩編です。

先ず、冒頭の言葉には様々な翻訳が為されていることで有名です。「お前たちは正しく語り、公平な裁きを行なっているというのか、人の子らよ」とあり、主語が「人の子(原文は「アダムの子ら」で、罪深いこの世の人々)」となりますが、前の『口語訳』では「あなたがた力ある者よ」であり、新しい『聖書協会共同訳』では「神々よ、本当に義をかたっているのか」となっています。全く違っていることが分かります。これは原文の言葉(=エーレム)をどう受け取るかの違いにより、定説がないと言ってよいのです。ただ、権力者にしても、偶像の神々にしても、それらに従い、それらと共に、この世で悪を行なっている人達のことも含めて「お前たちはこの地で、不正に満ちた心をもってふるまい、お前たちの手は不法を量り売りしている」や「蛇の毒にも似た毒を持ち、耳の聞こえないコブラのように(人の言葉や忠告に)耳をふさいで」いると厳しい罪の告発を為しているのです。これらの言葉は、この詩編の祈り人が、この時の悪徳政治家や支配者、偶像礼拝者たちによって、いかに厳しい虐げや迫害を受けているかがよく分かる言葉になっているのです。

ただ、それ故に、後半からは「神が彼らの口から歯を抜き去ってくださるように」「彼は水のように捨てられ」「生きながら、怒りの炎に巻き込まれるがよい」と、その相手に対してとても厳しい“報復を求める祈り”が語られているのです。

どうでしょうか。歴代のキリスト者たちは、この報復の祈りの部分を、一方ではイエス様の味合われた十字架に関わるみ苦しみを与えた者達への言葉として受け取りながら、もう一方では、戦争や敵対する敵国や他民族に対して祈る言葉と

して読んで来た悲しい歴史もあるのです。故に、このような“復讐を求める祈り”を読むことを、正式に『祈祷書』の中から外した教派も出ているのです。

まさに最初に申しました様に、この詩編をどう読み、どう取り扱っていくかによって、実は私たちの“信仰が問われる”と言い得るのではないのでしょうか。

神学者のボンヘッファーが、1937年7月11日に、フィンケンヴァルデ告白教会神学校の礼拝で、この詩編58篇をもとに説教したことが記録されています。彼は「この詩編を本当に祈れる人は、罪を犯したことの無い人だけである。そして、それはイエス・キリストお一人である」と語っています。それは、私たち人間は皆、罪を犯しているが故に、他者の罪への復讐を神様に祈れないだろうということでしょう。イエス様によって罪を赦して頂いたことに感謝して生きる私たち信仰者であるならば、どうして他者への復讐を神様に祈り求めることができるのだろうかと思うのですが。

\*\*\*\*\*

## 【今週の集会】

\*聖書研究・祈祷会 I. 3月4日(水) 20:00  
II. 3月5日(木) 10:30

聖書研究: ヨブ記

祈祷主題: 説教題揭示奉仕を覚えて

担当者: (水) FM (木) KT

祈りに覚える人 KTさん KMさん

## 【教勢報告】

主日礼拝 男16 女50 計66

祈祷会 I. 男2 女2 計4 II. 男1 女7 計8

日曜学校 幼稚科5 小中科5 計10

## 【次週礼拝】

3月 8日(日)

聖書: ゼカリヤ書 8:20~23

ルカによる福音書 8:40~48

説教: 「ルカ70—娘よ、安心して行きなさい」

讃美歌: 297(1)、32、聖歌隊(438)、299、482、

## 【次週当番表】

27(1)

司式: HS 長老 奏楽: HN 礼拝: SM 長老

献金: OK OK 受付: SM HH

会堂準備: IY OY KS NY

MH

看板: II 週報: KY お花: IK

## 【次週集会予定】

礼拝前: ・日曜学校 ・聖書輪読会 ・求道者会

礼拝後: ・お茶の会 ・牧師と語る会 ・聖歌隊練習

・ダビデ/婦人/壮年 各会

2026年 3月 1日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&amp;FAX 048-771-6549